

# 日本美容皮膚研究会雑誌 投稿規定

## ◆論文投稿者の資格◆

1. 特定非営利活動法人日本美容皮膚研究会の機関誌「日本美容皮膚研究会雑誌（JADS：Japan Aesthetic Dermatology Symposium）」への投稿は本研究会会員に限るが、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。なお、依頼論文の書式についても、本規定に準ずるものとする。

## ◆投稿原稿の受付◆

2. 原稿の投稿は電子メールアドレス：info@jp-ads.com に論文ファイルを添付して送付する。本文は Microsoft Word 形式、図表は Microsoft Powerpoint 形式、Microsoft Excel 形式、あるいは JPEG 形式で作成する。
3. 原稿は本投稿規程の書式に従ったものとし、未発表のものに限る。他誌への掲載予定のもの、投稿中のものは受け付けない。
4. 投稿された原稿の採否は、編集委員会において決定する。
5. 掲載の決定した原稿は返却しない。またその論文の他誌への掲載は禁止する。
6. 掲載料、別刷代金については別に定める。
7. 著者校正は原則として1回とする。内容の改変、組み替えは許されない。

## ◆原稿の書式◆

8. 原稿はワードプロセッサを用いて作成し、ソフトウェアについては Windows の MS-Word（バージョンは問わない）を原則とする。その他のデータ（一太郎、Mac Word 等）でも構わないがテキスト形式で保存したファイルも添付する。  
図、表、写真を作成する場合は、Macintosh の画像ソフト（イラストレーター、フォトショップなど）の使用が望ましいが、Windows の MS-Word、PowerPoint も可能である。写真をデジタルデータで入稿する場合は、解像度は 350dpi 以上で保存する。
9. 原稿用紙は、施設名などの記載されていない A4 版、400 字（20 字×20 字）詰、横書きのものを使用する。ワードプロセッサを用いる場合は A4 判の白紙でもよい。
10. 原稿は明瞭な楷書体（欧文は活字体、半角）で、専門用語以外は常用漢字、現代かなづかいを用い、句読点を正確に書く。原稿の枚数は 20 枚以内とする。
11. 人名、地名などは原語のまま、明瞭な活字体で記載する。生物学名はイタリック表示とする。省略語を用いるときは、最初に出てくる箇所でフルネームを記載するか、または説明する。ただし、要旨中では省略語を使用しない。数字はすべて半角の算用数字を用いる。度量衡の単位は国際単位系（SI）とし、数値と単位の間は 1 字あけ、数の千の位にはコンマ（,）をつける。年号は西暦に統一する。薬剤名などは一般名（最初のみ市販名 R を併記）を用いる。
12. 原稿の 1 枚目は連絡用紙とし、次の各項を明記する。
  - ①表題、②著者名、共著者名、③所属、④本文原稿、図、写真、表の各枚数、⑤希望別刷部数、⑥連絡先の名称、所在地と郵便番号、所属（部課名、教室名など）、電話および FAX 番号（非常勤の場合は自宅についても同様に記入）、⑦その他の連絡事項。

13. 原稿の2枚目には表題名と欄外見出し (running head. 15字以内) を、3枚目には著者、共著者名と所属 (以上は、欄外見出しを除きすべて和英併記。英文表記は文頭のみ大文字とする。他の欧文についても同じ) を、4枚目には要旨 (300字以内) とキー・ワード (5項目以内) をそれぞれ書き、本文は5枚目からとする。なお、謝辞、学会報告などについて記載する場合は、頁を改める。ただし、謝辞は具体的な科学的貢献に関するものに限り、編集者への謝辞、心情的なコメントは掲載されない。
14. 原稿は1部ごとに図表をつけてクリップ留めとし、ホッチキス留めにしないこと。
15. 図表 (写真は図に含む) は本文に出てくる順にそれぞれ番号をつけ、その枚数は10枚以内とする。本文とは別にまとめ、別紙にそれぞれの図表の番号と説明文を書く。また、それぞれの挿入場所を本文中の欄外に指定する。写真は、正副ともオリジナルで、鮮明な手札版、白黒の紙焼きとし、裏面に番号、上下の別、2部のうち1部には筆頭著者名を記入する。図表の引用は、必ず掲載許可済のものに限る。カラー写真希望の場合 (原則として費用は著者負担) は、その旨を明記する。

## ◆文 献◆

16. 引用する文献は重要なもののみを選び、本文中への引用順に肩番号を付して、本文の末尾に番号順に記載すること。ただし、要旨中では肩番号による引用はしないこと。
17. 共著の場合は、筆頭者のほかに2名、計3名まで。以下の共著者は「, 他」または「et al」と書く。
18. 誌名の略称は、各誌表紙に記載の公式略称とし、不明の場合は略さずにそのまま用いる。
19. 次の記載例に従い、注意深く正確を期する。
20. インターネット上で公開されている内容を利用する場合でも、引用または転載が必要である。引用の場合はそのURLとアクセス日を参考文献に記載すること。インターネット上の画像を利用する場合は、転載にあたるため、著作権者からの許諾が必要である。

### 【文献の記載例】

- 1) 佐竹元吉：毛髪と薬用植物 . 皮膚と美容 35 : 142-146, 2003.
- 2) Paus R, Cotsarelis G : The biology of hair follicles. N Engl J Med 341 : 491-497, 1999.
- 3) 新井裕子, 新井健男, 中嶋 弘, 他 : II. 各論, 7. 嵌入爪, b. 陥入爪の簡単かつ有用な保存的治療法. 溝口昌子, 大原國章, 大塚藤男, 他編: QOL をたかめる皮膚科治療—理論と実際— (皮膚臨床, 特集 42号), 金原出版, 東京, 1321-1328, 2002.
- 4) Sinclair RD : Alopecia. In : Rook' s Textbook of Dermatology, Burns DA, Breathnach SM, Cox NH et al (eds), vol. 4, 7th Ed, Blackwell Publishing, Oxford, 63 : 18-36, 2004.

## ◆著作権◆

21. 本文に掲載された論文の著作権は、特定非営利活動法人日本美容皮膚研究会に帰属する。